



# 台場っ子

令和5年4月30日

台場小学校の  
教育目標

かしこい子 やさしい子 たくましい子

「誰もが『この学校でよかった』と思える学校」を目指して

校長 高島 伸彦

グラウンドを埋め尽くしていた雪もようやく姿を消し、春の訪れを実感できるようになりました。4月5日に新入生2名を迎え、全校児童37名、教職員24名で新年度がスタートしました。どの学級でも、新しい仲間・担任と共に新鮮な気持ちで前向きに学習に取り組む子どもたちの姿がまぶしいほど輝いています。

さて、今日、変化の激しい社会を担う子どもたちに必要な力は、基礎・基本を身に付け、いかに社会が変化しようと、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する資質や能力、自らを律しつつ、他人とともに協調し、他人を思いやる心や感動する心などの豊かな人間性、たくましく生きるための健康や体力などの「生きる力」です。

この「生きる力」を育てるために、今年度も本校では、学校の教育目標「かしこい子（知） やさしい子（徳） たくましい子（体）」の達成を目指して教育活動を進めてまいります。

さて、この1年間が、子どもたちにとって楽しく、安全に学べる学校生活となるように、始業式で次の3つのポイントを伝えました。「自分から考えを伝えること」「いろいろな場面や人に合わせること」「あきらめないで続けること」そして最後に「みんなで笑顔あふれる楽しい学校をつくりましょう！」という言葉で締めくくりました。この3つのポイントは、本校の教育目標である「かしこい子」「やさしい子」「たくましい子」につながっています。この本校の教育目標を子どもたちのみならず、保護者・地域の皆様と共有しながら進んでいくことが何よりも重要であると考えます。

現在の学校には、変化の激しい時代に対応し、柔軟な発想による教育活動が求められています。本校としましても、様々な変化に対応するとともに、子どもたちの学力や体力の伸び方、心身の育ち方などをしっかり捉え、子どもたちがよりよく育つよう適時に教育活動を工夫改善し、「かしこい子」「やさしい子」「たくましい子」の実現を目指してまいります。そのために、全教職員が一致協力して取り組むよう、「目指す教職員の姿」を「児童のために、常に学び、共に前進する教職員」と設定しました。

今年度も、保護者・地域の皆様と課題を共有し、その解決に向けて一層の連携を図るとともに、教職員一同、子どもたちの健やかな成長を目指して、全力で取り組んでまいりますので、これまで同様、皆様の御理解と御協力をよろしくお願いいたします！

